

■教員養成に係る教育の質の向上のための取り組み

本学では、教員養成に係る教育の質の向上のため、以下の取り組みを行っています。

(1) 教職カリキュラム

国が定めた教育職員免許法に基づいて教育課程を編成するとともに、本学における教員養成の理念・目標を具現化する組織として、全学教務委員長を長とし、教職課程担当教員ならびに全学部の教務主任が構成員となる教職課程運営委員会を設置しています。教職課程のカリキュラムや教職課程設置にかかわる方針などについて全学的視点にたち議論しています。

教職課程担当教員ならびに職員で、教職課程の行事、カリキュラムならびに教職課程履修学生一人ひとりの学びの現状と課題について把握し、改善するための教職担当者会議を定期的に行い、学生たちの学びの実質としての教職カリキュラムの質の向上ならびに高度化に取り組んでいます。また、教職ラウンジ開設に合わせて導入した履修学生対象の教職相談を軸に教職課程に係る諸問題や課題について教職員間の迅速な情報共有と連携を図っています。

(2) 教職課程FD懇談会の開催

教職課程を担当する専任、非常勤教員を対象とした意見交換会を、定期的に行っています。ここでは、担当教員間の意見交換を通して、教職カリキュラムや教員養成の質の向上をめざすとともに、全学組織で定められた本学の教育課程の編成方針や指導方針を確認し、共有することを行っています。

(3) 学生に対する教育活動ならびに進路指導

本学の教職課程では、少人数教育を導入し、きめ細かな学生指導を行っています。2年次には、必修科目として「総合演習」から引き継がれた授業実績を「総合的な学習の時間の指導法」に活かし、教職課程担当専任教員が担当することで、情報共有・情報交換を定期的に行い、教職課程履修学生の教育実習に必要な基本的な能力の育成と個々の学生の状況把握に努めています。また、各教科指導法ならびに教育方法Ⅱでは、積極的に模擬授業を導入し、教育現場での授業実践に対応できる実践的な知識と技能の向上を図っています。さらには、教育実習の指導では、事前指導において、経験豊かな現職教員を招聘して、高度かつ実践的な学習を行っているほか、学生には教職ラウンジを活用した模擬授業の訓練を促し、春学期を活用した模擬授業の実施に臨むよう実践指導に努めています。また実習期間中は、教育実習生の研究授業の指導に努めるため教職課程担当の教員による全国の実習校への訪問指導を行っています。教育実習後のフォローアップにおいては、「教職実践演習」を中心として履修カルテや教育実習ノート、教育実習評価票をもとに振り返りを徹底して行い、教師としての専門的な見識や技能を高めるとともに、その後の進路に生かせるよう指導しています。

また、本学のキャリアセンターならびに学務課教職支援室において、教職課程履修学生に対する就職の案内ならびにサポート活動を行っています。合格者体験談報告会や卒業生現任教員による教育現場の講演、私学適性検査や教員採用試験対策などの意見交流会など、採用に向けて、種々の行事を開催しています。またキャリアセンターで入手した求人情報を教職ラウンジに集中し、学生ポータルや掲示板、ファイルにより情報提供の一元化をはかっています。採用試験受験希望者には随時、申込書の添削、面接等を含めたカウンセリングを行い、きめ細やかな進路指導を心がけています。

(4) 教職ラウンジの活用

教職をめざす学生が自由に情報交換や交流を図るためのスペース「教職ラウンジ」を2016年6月より開設しました。開設後の教職ラウンジでは、学生が自ら企画を立ち上げ模擬授業や授業研究、防災イベント等を行っています。また、教員による企画や授業の成果物の展示・掲示など、有効に活用されています。

教職ラウンジには、教科書や副教材、学生の指導案、教職課程に関する月刊誌、教育新聞、教員採用試験情報などのほか、卒業生や教職員からの提供資料も用意しています。

また、教職課程の専任教員による「教職相談」の体制を整え、事務との連携を図りながら学生の相談や質問等に応じています。

(5) 教職広報の充実

2016年6月に教職ラウンジが開設されたことで学内外への発信の強化が図られてきました。開設を機に創刊した「東京経済大学教職課程年報」には、学生の介護等体験や教育実習などの体験談の他、教職課程を担当する教員による授業方法の論文寄稿や授業での取り組み、教職講演の紹介など、教職課程の現状や課題について、全学の教職員が共有し、教職課程に対する理解を深めていただけるよう内容の充実に努めています。

また、新学期に合わせ、新入生、卒業生を対象に教職ラウンジ紹介リーフレットの発行、教員メッセージ、履修学生や卒業生メッセージ等を紹介した教職 web サイトにおいて学内外に情報を発信し、在籍学生と卒業生の相互の交流の促進とライフプランに役立てて貰えるように努めています。

(6) 今後の取り組み

① 教職ラウンジを活用した多様なとりくみ

模擬授業や授業研究に限定せず、学生による自由な発想の企画を多彩に開催してもらうこと、教員による授業の補助的な役割を担う企画など、教職ラウンジの設備、場所を活かした多様な企画を展開していきます。

② 学外における学びのネットワーク充実のとりくみ

教育実習に臨む学生の援助ならびにモチベーションの維持向上を図ります。

教育現場経験の重要性から学校インターンシップや学校ボランティア活動を希望する学生をサポートし、高大連携や地域連携の協力を得て取り入れていきます。